

国文

奪われた書物たち —〈発禁本〉の世界

「発禁本」とは、政府や軍、警察などの権力から発行を禁止された本のことです。講義では、その貴重な実物を手に取っていただきながら、書物のたどった運命を感じてもらえればと思います。

国文

辞書にも歴史がある

一度は触れたことのある「辞書」ですが、その歴史となるとどうでしょうか？辞書は、記録上すでに奈良時代には存在しており、また、江戸時代の辞書は今でも手に取ることができます。歴史上、辞書がどのように親しまれてきたのかを、この授業で考えてみましょう。

史学

聖武天皇と奈良の都・平城京

今年2024年は、大仏や正倉院宝物で知られる聖武天皇の即位1300年にあたります。聖武天皇のために造られた都といってもよい奈良の都・平城京の新しい調査研究成果を、最近見つかった木簡も含めてご紹介します。

地理

伊能忠敬、2度目の奈良 —210年前の足跡は・・・—

伊能忠敬は、奈良に2度訪れている。1度目は、「大和路測量」として奈良盆地を中心に実測した文化5(1808)年でした。それは第6次測量で四国からの江戸へ戻る途中のことでした。2度目は第8次測量時で九州から江戸へ戻る途中のことでした。今からちょうど210年前のことです。測量成果として残される地図ではわからない伊能忠敬の動向を解き明かします。

地理

城下町絵図の「探」と「究」

城下町絵図を地理学の視点からみていきます。絵図を俯瞰しながら疑問点を探し、その解決にむけて究めていく流れを提示してみます。また、現地を確認することの大切さにもふれます。絵図・地図によって土地割の復原を行う地図化作業から、「まち」の歴史性や地域性を紹介していきます。

文化財

文化財を知る・学ぶ -保存科学からみる奈良大学文化財学科-

文化財をX線で見ると何が見える？顕微鏡で拡大した世界はどんな風？文化財が何で作られているかどうしたら分かる？理化学機器を使った文化財調査を通じて「保存科学」の一端を紹介します。

心理

なぜ、国際的な対立を解決するのが難しいのか？

ウクライナ紛争をはじめ、現在でも世界の様々な場所で国際的な対立が生じています。もちろん、対立の背景はそれぞれ異なるのですが、「なぜ対立が解消されにくいのか」には心理学の知見からもヒントが得られます。「私たち」と「あなたたち」を分断してしまう心のメカニズムについて考えてみましょう。

総合
社会

サザエさんは不思議な家族

日本の国民的アニメといわれ40年以上に渡って放送されてきた「サザエさん」は、実はよく考えると非常に不思議で現実にはほとんどあり得ないような事柄が多数設定されています。「古き良き日本の家族」というイメージが実際の姿とどのように違うのかを考えることで、「常識」というものがいかに「非常識」であるかを感じていただこうと思います。

奪われた書物たち ―〈発禁本〉の世界

「発禁本」とは、政府や軍、警察などの権力から発行を禁止された本のことです。この展示では、その貴重な実物を手に取っていただきながら、書物のたどった運命を感じてもらえればと思います。

合巻の世界 ―江戸の絵入小説―

江戸時代後期、「合巻(ごうかん)」と呼ばれる絵本型小説が江戸の人びとを魅了しました。まず、読者は人気絵師による美麗で迫力のある表紙や挿絵によって、あやしげな世界へと導かれていきます。そして、仇討・恋愛・怪異といったキーワードに彩られた物語を読み進めていくことで、豊かな作品世界を味わうことができます。今回の展示では、奈良大学図書館が所蔵する貴重な合巻作品を数多く展示します。ぜひ手に取ってご覧ください。

実物の史料に接しよう！

伊達政宗の手紙、古代の木簡、江戸時代の古文書、エジプトのパピルス、ロシアのイコン、歴代中国の貨幣などなど、史学科が所蔵する実物の史料に接して、歴史の面白さと深さを「体感」しよう！

地理学の魅力

地理学は非常に間口の広い学問と言われます。この地理学の具体的なイメージを持っていただくために、各種地理資料を提示いたします。具体的には、自然、環境、都市、農村、歴史、交通、観光、情報などの各領域の資料を展示します。

古代の遺物を見る・触る

古代の遺物を実際に手に取って学び、ここでしかできない文化財学科の魅力を体験します。

探検しよう！心理学の世界

心理学の実験や実習で使用する機器を展示しており、実際に心理学実験や心理テストを体験することができます。心理学科の教員や学生もおりますので、奈良大の心理学科がどんなところなのか、気軽に質問してください。

盾形銅鏡(*注)キーホルダーの制作体験(数量限定)とAIによるスマホ依存判定

総合社会学科では、情報・通信の先端技術を駆使した授業も行っています。今回はその一端をお見せします。事前に3Dプリンタで出力したのから作成したシリコン型を使って、盾形銅鏡キーホルダー作りを体験できます。作成したキーホルダーは、記念品としてお持ち帰りください。なお、材料には限りがあるため、なくなった時点で終了とさせていただきます。

(*注)富雄丸山古墳から出土した盾形銅鏡の意匠を模したもので、実際の銅鏡の意匠とは異なります。